

審議会等議事概要

平成24年度 第1回 滝川市都市計画審議会 議事概要

日 時	平成24年6月5日（火曜日）午前10時30分～午前11時00分
開催場所	滝川市役所 5階 庁議室
出席者	宮島忠幸会長、田端千裕副会長、中村延孝委員、細田光人委員、池田尚志委員、堀 重雄委員、井上正雄委員、関藤龍也委員、柴田文男委員、道下義夫委員 事務局等：吉井裕視副市長、大平正一部長、千葉 豊室長、湯浅芳和副主幹、岡崎卓哉主査、東 忠司主任技師、内田喜大主任級技師
議 事	<p>1 開 会</p> <ul style="list-style-type: none">・ 事務局長から本日は委員10名全員が出席で審議会が成立したことを報告 <p>2 副市長あいさつ</p> <ul style="list-style-type: none">・ 諮問一件が本日の主となりますので、各委員に対してよろしくお願ひしたい旨あいさつがあった。 <p>3 会長あいさつ</p> <ul style="list-style-type: none">・ 本日は諮問とありますが、各委員には活発な審議を期待するとともに、答申できるようよろしくお願ひしたい旨あいさつがあった。・ 会長のあいさつ終了後、副市長が他の公務のため退席。 <p>4 諮問第1号 滝川都市計画道路の変更について 事務局）</p> <ul style="list-style-type: none">・ 配付資料に基づき、「滝川都市計画道路の変更」について内容説明を行い、今後の進め方について報告。 <p>会長）</p> <ul style="list-style-type: none">・ 昔、駅前広場は国鉄との折半線があり費用を分担していたが、現在も費用の分担はあるのか。費用分担があればJR北海道との協議で了承を受けないと変更ができないことになる。その点について説明をお願いします。 <p>事務局)</p> <ul style="list-style-type: none">・ 現在もJR北海道との費用分担があります。過去には二分の一線、現在は六分の一線となっておりJR北海道の負担が減っております。協定が旧運輸省と旧建設省にあることから、それに基づいてJR北海道と協議を進めております。 <p>会長)</p> <ul style="list-style-type: none">・ 車線数の決定は、全面的に都市計画道路を見直すのであれば、その時に併せて実施してもよいのではないか。先に行う理由と、なぜ車線数を決定するの

か、この２点について説明をお願いします。

事務局)

- ・ 平成10年の法改定の中で地方分権の流れがあり、今現在法的に幅員が16m未満の西一号通10ページ滝川都市計画総括図にある黒い線が滝川市で決定できる路線であります。
- ・ 今回、車線数の決定を行いますと権限が北海道から滝川市に委譲され、2車線の道路については基本的に滝川市が決定できることになります。
- ・ 始めにご質問がありました先行して車線数を決定する理由は、滝川市の決定において都市計画道路の全面見直しの中で廃止や幅員の見直し等、ほとんどの路線で滝川市の考えで決定できる手続きになりますので、前段で車線数の決定をさせていただいております。
- ・ なお、二車線道路が滝川市の決定となると言いましたが、国道と道道につきましては二車線になっても北海道決定となります。そのほかの二車線道路につきましては、滝川市の決定となります。

会長)

- ・ 今言っているのは、都市計画道路の全面変更をする前に、車線決定することで北海道から権限の委譲を受け、今後滝川市で決定していきたいということです。

委員)

- ・ 10ページ滝川都市計画総括図において、西二号通の18m二車線道路と三丁目通を新しく調査することになっておりますが、西二号通を新十津川町へ向かって将来的に開発していくという話を聞いております。この点につきまして都市計画決定をどのように考えているか説明をお願いします。

事務局)

- ・ ご質問の内容にある西二号通は鉄工団地があり、現在未整備の状況である。都市計画道路の整備を進める前に調査を今年度計画しております。
- ・ 今のご質問となるのは三丁目通でございます。現在滝川市から北海道へ道道昇格の要望を提出させていただいております。ふれあい橋を通り、平成橋、新十津川町へ抜けて国道275号までの道道昇格を目指しております。
- ・ 前段に都市計画マスタープランの中で、コンパクトな都市づくりということで西二号通と三丁目通を含む環状線の整備を行い、コンパクトにしていく考えと、その幹線となる三丁目通と絡めまして、西二号通の整備と共に道道昇格を強く要望しております。また、三丁目通の立体交差がまだ未整備でございますので、そちらも北海道に整備していただけるように現在要望しているところでございます。
- ・ 最後にご質問の内容の都市計画変更について、今後の方向性についてですが、こちらはあくまで道道昇格を考えておりまして、都市計画としての決定は現在のところ考えておりません。ここは既に立体交差に決定されておりますので、それについては道道昇格の要望が通れば北海道に整備を行っていただけるような方向性で進めております。

委員)

- ・ 将来、都市計画決定が必要になってくるということか。

会長)

- ・ 道道昇格されてからでも、重要な路線であるため都市計画決定を行うのか。

事務局)

- ・ 重要な路線であることには変わりございません。都市計画につきましては都市の計画という位置付けがあります。新十津川町の都市計画区域がこのあたりまでありませんので、都市計画決定をしても都市計画道路としては繋がらないことになります。都市の計画としては持たないということです。あくまで北海道の幹線道路としての道道昇格を目指しています。

会長)

- ・ 環状線を整備してコンパクトなまちづくりを考えます。三丁目通については道道の昇格を目指します。

道道に昇格されれば都市計画道路であろうとなかろうと北海道が整備すると、幹線になります。そこを都市計画決定するかしないかは後でもできますし、またする必要があるれば後ほど行います。今しなければ道道昇格されないとか、道道に駄目ですよとかならないので今の所はしないで道道昇格のお願いをしていきますとのことです。

委員)

- ・ 道道昇格の運動を行う中で、都市計画を設定しなくてもよいのか。

会長)

- ・ 今の案を都市計画決定しないと道道昇格に成りづらいのではないか。都市計画決定したら道道昇格が成りやすいのではないか。

事務局)

- ・ 結論から申し上げますと都市計画決定の有無と道道昇格は連動いたしません。ただし、三丁目通の立体交差については都市計画決定されておりますけれども、それを進めるにおいて道道昇格が必要だという考え方を持っております。
- ・ 道道昇格によって都市計画決定になることではなくて、三丁目通の整備のために、道道昇格が必要だということでございます。

委員)

- ・ 必要になってくるということですね。

事務局)

- ・ 道道昇格が必要になってきます。

会長)

- ・ 他にございませんか。無ければ以上もちまして、諮問第1号「滝川都市計画道路の変更」について、「可」として答申してよいですか。諮問第1号を「可」とし事務局と答申して協議し会長一任してもらいまして答申することに異議ありませんか。

委員)

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 異議なし <p>会長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 諮問第 1 号「滝川都市計画道路の変更」について、「可」とし答申する。 <p>7 その他</p> <p>事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今後の予定につきまして、今回車線決定につきまして作業を進めております。その後先ほどお話ししたとおりでありますけれども、都市計画道路の全面見直しを考えております。廃止・幅員の見直し等を今後手続きを踏んでいくことになります。具体的には市の決定においてきた段階で夏頃から住民説明会を開催しながら、また当審議会においてご審議をお願いいたします。さらに都市計画マスタープランのなかで土地利用の全面見直しを考えております。先ほど言いましたコンパクトな都市づくりという中で、土地利用の全面見直しを行うことについても、今後ご審議をしていただくことになります。 <p>さらには公園の都市計画決定も今回 6 箇所を考えております。都市計画道路の見直しの中での都市計画道路との接点が 3 箇所、新規で 3 箇所というなかで今後ご審議いただくことになります。</p> <p>今年度につきましては何回か足をお運びいただきましてご審議いただくことがありますけれどもよろしくお願いいたします。</p> <p>8 閉 会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事務局長から以上をもって都市計画審議会を終了する旨宣告。
報告資料	諮問第 1 号 滝川都市計画道路の変更について